

佛 教 文 學

第三十一号

長門本平家物語の慈念僧正による真済教化説話	浜畑圭吾
久遠寺所藏釈迦八相図「仏指移石」考	土井陽子
——第二種七卷本『宝物集』をてがかりにして	船田淳一
真言系八幡講式とその周辺	船田淳一
——鶴岡座不冷本地供と別当頼助の中世神道説	船田淳一
東京大学史料編纂所蔵『連々令稽古双紙以下之事』をめぐって	高橋秀城
——室町末期真言僧侶の素養を探る	高橋秀城
松亭金水と日蓮宗	服部穰治
——幕末期における通俗仏教書の出版と戯作者	服部穰治
【二〇〇五年度大会講演】	上横手雅敬
『十訓抄』の編者をめぐって	上横手雅敬
【二〇〇五年度武蔵野大会シンポジウム】	高城功夫
西行の死生観	高城功夫
——無常連作歌を中心に——	高城功夫
西行と浄土思想	平田英夫
——臨終歌「たのもしな」をめぐって	平田英夫
西行の和歌と華嚴思想	金坂任仲
西行の衆生教化・済度の意識	金坂任仲
西行の宗教観の原質	三村晃規
——『あはれ』の視点から「数寄」の吟味など	三村晃規
【二〇〇六年度大会講演】	岩田正文
日蓮遺文における唯識説	岩田正文
伝親嘗作の和歌集	小田正文
——『御開山御詠歌三百七首』の紹介と翻刻	小田正文